兵庫県立いなみ野特別支援学校　あおの訪問学級通信

わかくさ

R3.5.20
発行
第 378 号

令和３年度スタート

令和3年度がスタートして早や一ヶ月が過ぎ、5月も中旬に入りました。その間にあおの訪問学級は着任式や始業式、入学式と離任式があり、出会いと別れがありました。4名の先生方が異動と退職で学級を去られ、新たに4名の先生を迎えました。しかし、コロナ禍で　みんなが集まって式を行うことができず、4月8日（木）にベッドサイドでタブレットの映像での着任式・始業式が行われました。校長先生のお話や着任された先生方からの個性あふれる自己紹介がありました。

4月14日の入学式では、新たに小学部3名、中学部2名、高等部2名の児童生徒を迎え、総勢21名になりました。そして、4月15日には、3月で異動された先生方の離任式を行いました。映像を通しての式でしたが、一人ひとりから歌のプレゼントと共に心温まる言葉をいただきました。年度当初のすべての式がベッドサイドで行う式となりましたが、先生方のいろいろな工夫もあり、心に残る式となりました。

5月に入り、気温も少しずつ上昇してきて時折心地よい風が吹き抜け、自然の持つ素晴らしさを実感できる季節となりました。日々の授業の方も前年度に引き続き、個別の対応となりますが職員一同、児童生徒の皆さんが持っている無限なる力を引き出し、成長できるように取り組んでいきます。今年度も保護者の皆様、病院関係者の皆様のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

（教頭　月野木　和彦）

西3病棟

西３病棟には、新入生が入学し、小学部２人、高等部１人の計３人になりました。上級生の２人は、それぞれ花紙の花の飾りのおめでとうカードを作り、写真を見ながら入学してくるのをワクワクして待っていました。始業式、入学式は、ベッドサイドで個別に行いました。教師の歌ビデオ「友だちになるために」では、声を出したり手や顔を動かしたり鈴を鳴らしたりながら、それぞれの方法で聞いていました。また、映像や歌、造花、絵本等を使って、桜やチューリップのお花見、うぐいすの声、さなぎの成長等の学習をそれぞれが楽しんでいました。

東2病棟

新しい担任の先生と新学年が始まりました。４人の児童・生徒たちは、笑顔いっぱいで学習を進めています。週に一度は教室で学習することができ、教室前の駐車場で春探しをしました。ビオラ、桜、チューリップ、他にも春の花を見つけては、視線や言葉で伝え、個に応じた方法で、写真を撮りました。時々、春の風が吹

き、心地よい時間を過ごすことができました。また、子どもの日に向けて、こいのぼりの学習もしました。こいのぼり遊びやこいのぼり作りなどを通して、たくましく成長している姿が見られました。
小・中学部２名ずつの新入生４名、在校生７名が令和３年度の学習をスタートさせました。

東3病棟

始業式、入学式は各部屋で個別に行いました。校長先生の話、先生たちの歌「ともだちになるために」等を動画で視聴し、笑顔を見せたり、目を動かしたり、全身を大きく動かしたり、受け止めたことを一人一人の方法で表現しました。季節の学習ではそれぞれ、チューリップ、タンポポ、イチゴ等に取り組みました。はじめての学校生活を送る小学部１年生は、学習の中で見る、聞く、触れる様々なものに興味を示し、毎日はりきって学習しています。

西2病棟

西２では「春」をテーマにした学習に取り組みました。最初に、桜に見立てたピンクのビニールシートの下でお花見を楽しみました。次に桜の制作、チューリップ、ちょうちょの学習、こいのぼりの制作をしました。西２の３人は、制作活動が好きな人、布や季節の花が揺れるのを見たり、自分で揺らしたりするのが好きな人、春の音楽が好きな人と、それぞれに好きな学習があります。今年度も好きなことや興味があることを増やせるように、明るく楽しく学習していきたいと思います。